



本年もよろしくお願いいたします

みだい寮施設長 老沼 正敏

旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

コロナウイルスのワクチンや治療薬（安全性や効果が一定程度担保されたもの）が普及するには、まだしばらく時間が必要なようです。とにかく、できる限りのコロナ対策をしっかりとしながら、日々を大切に生きることにつとめたいと思います。

コロナ禍で私たちの暮らしぶりも随分変わりました。不安や不便さが募る一方で、新たな気付きもあります。そうした経験の積み重ねの中から、未来に向けての知恵と希望を掴み取るしかないのでしょうか。今、起こっていることの記録と検証は不可欠です。

コロナ禍に限らず、身近なところにも課題は山積していますし、ひとりの力ではどうにもなりません。そうしたものに対峙するとき、私たちはどんな姿勢で臨めばよいのでしょうか。

以前、大塚晃さんが講演の中で紹介していた『希望のつくり方』（玄田有史著・岩波新書）という本を読みました。「社会の希望」について玄田さんは門脇厚司さんのアドバイスを紹介しながら、次のようにまとめています。

「社会的な希望 (social hope) とは、他の誰か (others) と、希望を共有しようとする。他者と共有する何かを一緒に行動して実現しようとする。」なるほどと納得しました。同時に私は、

「・・・納得がいくまで対話をくりかえし、お互い (each other) が尊重されていることを確かめよう。そして実現に向けてともに試行錯誤を繰り返しながら、進んでいく。」

年の初め、こんな言葉を念頭に置いて、本年を過ごしたいと思いました。

よい年になれ

家族会 会長 堀内 澄子



新年あけましておめでとうございます。
家族会の皆様におかれましては、お元気で新しい年を迎えられたことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルスに世界中の多くの人が感染し、多くの人が命を落としました。また、全ての人がコロナに振り回され、誰もが皆不自由な生活を強いられました。

みだい寮にあつては、職員の方々の並々ならぬ努力で日々を過ごしていることと思います。本当にありがたく思っております。ただ、色々な行事が中止になったり、思い通りに帰省できなかったりと、利用者さんにとってはつらい一年だったことと思います。

今年こそは、ワクチンの開発によって一刻も早く新型コロナウイルスが収束することを祈っています。そして、みだい寮の利用者さんたちがさらに明るく元気に生活できるようにと願っています。

また、家族会の活動が順調に進められると嬉しいです。皆様のご協力をお願いします。

マスクをした、色んな意味でアツい夏

支援員 望月 豊字希

「やきそばにかき氷、チョコバナナ。スイカも割れて良かったです。また来年もお願いしますね」、「近いところで花火が見られて、〇〇さんがとても喜んでたよ」

こんな声とともに、令和2年の8月も納涼祭が催されました。しかし、例年とは違った様相でした。新型コロナウイルス流行により規模を縮小し、みだい寮単独での開催となったのです。シンボルとも言えるやぐらや盆踊りのない納涼祭。寮内を会場とするため色々な制約を受けました。でも、『ささやかでも夏の楽しみを』という思いは職員皆同じ。試行錯誤しつつも、こんな状況だからこそ新たな試みもありました。

寮内のチェックポイントを回り、駄菓子やおもちゃをもらうお店巡りゲーム。道中、皆で賑わいました。その後の訓練棟前での寮對抗のスイカ割り、ご馳走に舌鼓を打つ姿からは、利用者さんたちが『心を躍らせている』という印象が今も強く残ります。間近で見た閉祭の花火ではそれが顕著でした。

手作り感満載のお祭りでしたが、皆で参加し作り上げているという『一体感』が強いようで多くの好評を頂くことができました（係の私が言うのも何ですが）。それは、こんなご時世だからこそ工夫することで得られた貴重な経験だとも思っています。今年度の納涼祭は、隣り同士のディスタンスを保ちつつ、心の距離は、密々にして無事成功させることができました。ただ、こういうのは今年限りで来年は全部がいつも通りになるといいですね。ビニールシートのない、新たな日常でまた会いましょう。

「コロナ禍でも楽しい秋祭りを」

支援員 間々瀬 遥香

今年にはコロナウイルス感染症の影響で、皆さんが楽しみにしていた福祉村祭りが中止となってしまうしました。「福祉村祭りが出来なくてもみだいの寮の中で皆さんが楽しめる行事を！」と、「秋祭り」と銘打って運動会形式のお祭りはどうかと利用者さんと意見を出し合いながら準備を進めました。最初に利用者さんの気分を盛り上げようと、ポスターや万国旗、看板等の装飾品を協力しながら作りました。運動会では、玉入れやパン食い競争、ダンスを行ない、食事は屋台形式で焼きそば、豚汁、かき氷などコロナ対策もしながら実施しました。お祭りとしては縮小してしまいましたが、皆さん楽しんで参加して頂けました。終わると「楽しかったよ。ありがとう」と沢山の利用者さんに言って頂き、私達もやって良かったと笑顔になりました。

コロナウイルスが終息するまで大きな行事は出来ないかもしれませんが、そんな中でも皆さんが楽しめるように意見を出し合い「楽しかった」「またやって」と言ってもらえるような行事を提供していきたいらと思います。



新築グループホーム

こもればいホーム甲西の紹介

事務員 伊藤 大

法人の社会福祉充実計画の一つである、南アルプス市古市場地区再整備に基づいて建設された新しいグループホームが令和2年12月に完成しました。

木造2階建て居室は全8部屋。浴室、トイレは各階に用意されており、エレベーターも設置されています。

また、定員は6名で、現在4名の方が入居されています。見学も随時受け付けていますので、気軽にお問い合わせください。



居室

全室エアコン完備
6.4畳の広々空間



食堂



外観



浴室

こもればいホーム甲西

〒400-0404 南アルプス市古市場 240
家賃 20,000 円 (状況に応じ減免あり)
食費 30,000 円 共益費 13,000 円

問い合わせ連絡先 055-285-4292
みだいの寮グループホーム担当

小倉・山本・望月・武者

7～12月 行事ハイライト



納涼祭



秋まつり



納涼祭



開所記念



開所記念

【令和3年 1～6月の行事予定】

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1月 利用者新年会 | 4月 お花見 |
| 2月 節分 | 5月 障害者スポーツ大会 |
| 3月 利用者お楽しみ会 | 6月 支援協会交流スポーツ大会 |

【令和2年7～12月までの 苦情解決】

社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会における「苦情解決の仕組み」による苦情解決について報告致します。今回の報告は、令和2年7月～12月までの間のものです。

苦情解決は2件ありました。内容は下記の通りです。

申し出日：令和2年6月26日

申し出人：養護者

相談の分類：サービス利用に関する事項

処理状況：申出人、関係者、職員による話し合いを行い解決

申出人への確認：申出人が話し合いで納得し、第三者委員への報告は不要であるとのこと。

みだい第66号 編集後記

未だにコロナウイルスの影響が続いており、なにかと制限もありますが、その中でも出来ることを考え、少しでも利用者のみなさんが生き生きとした生活ができるよう工夫していきたいと思っております。本年もよろしく申し上げます。

編集後記 坂本・大芝・中澤